

SHIRATAKA
PUBLIC
RELATIONS

し
ら
た
か
広報

賀
正

1.12
JAN 2012
NO 1080



龍門ヶ滝 (女滝)
瑞龍院 (西高玉)

の奥で静かに水しぶきを立てる女滝。この奥には、さらに高さのある男滝が控えています。

平成24年正月

あいさつ

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年3月11日に発生し未曾有の災害となった東日本大震災は、私たちに大きな衝撃を与えました。改めて多くの犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災地の一刻も早い復興を期待するところであります。

震災による原子力発電所事故が発端となり、経済産業面への影響はもちろん、日本全体が先を見通せない不安を抱えることになり、元気を失いかけ、被害が少なかった本町を取り巻く環境も不透明な状況下にあります。

そのような情勢ではありますが、共創のまちづくりの基本理念の下「笑顔かがやき 心かよう 美しいまちづくり」を将来像として、郷土を愛し、活力に満ち、笑顔で暮らせるまちづくりを目指すため、「人づくり」をベースに重点分野を「子育て・教育」「雇用・産業」「地域の3分野とし、「絆」や「つながり」を視점에施策を展開してまいります。

具体的には、子どもを産み・育てやすい環境づくり、中学校の統合に向けた準備、農業の活性化に向けた6次産業化の推進、受注拡大や雇用拡大に向けた企業支援、特色ある地域づくりの推進等に取り組んでまいります。

また、新たな課題として、危機管理体制の再構築、耐震化等の災害に強い地域づくりの推進に取り組むとともに、再生可能エネルギーの検討や省エネの推進など、新たなエネルギー政策の展開に努めてまいります。

町民皆様お一人お一人の参画と英知の結集が、絆を深め地域のつながりを育み、まちづくりの大きな力となっていくものと確信しております。

本年が、皆さまにとりまして良い年でありますよう心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

白鷹町長 佐藤 誠 七



年頭のご

明けましておめでとうございます。輝かしい新年を迎え、町民の皆様にご挨拶申し上げます。

東日本大震災や台風による自然災害が多発するなかにあつて、穏やかな年の瀬を迎え、そして、新年を迎えられる事の幸せを私達は常に忘れてはなりません。合わせて白鷹の素晴らしさを再認識するとともに、更なる発展を願うものであります。

さて、昨年を振り返りますと3月11日には、未曾有の東日本大震災が発生し、東北各県で多くの犠牲者が出ました。ご冥福をお祈り申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を期待したいと思います。

想像をはるかに超えた災害に対し、わが町の防災計画も大幅に見直し、防災体制の強化充実、さらには、地域防災組織との連携強化を図らなければなりません。

また、4月に執行されました町議選においては、14名の定数に7名の新議員が誕生しました。行財政改革を推進する立場から、自らが襟を正し、選良である事を認識し、当局と常に適度の緊張感を保ちながら、両輪としての議会の立場を忘れることなく、町民の皆様の負託に応えていかなければなりません。

わが町は今、第5次総合計画を進めるなか、鮎貝の「四季の郷」に新たな企業誘致が決定するなど明るい話題も見えてきたところではありますが、人口減少、フラワー長井線問題など、課題も多く抱えている現状にあります。その中でも、荒砥高等学校存続が最大の山場を迎えます。町・議会・町民が一体となり定員確保に取り組む必要があります。

今後とも、議会の活性化を図りながら、町政発展のための町民の皆様方の声を拝聴しながら課題解決に向けさらなる努力をしまいる所存であります。

以上、年頭にあたり所感と決意の一端を申し上げ、町民皆様の幸せを願いながらご挨拶いたします。

白鷹町議会議長 青木 彰 榮



年男・年女さんに聞きました

今年も年男・年女のかたがたにインタビューし、新年の抱負や町への思いなどを語っていただきました。

2012



インタビュー内容

- ①家族構成 ②趣味 ③特技 ④2011年、心に残った出来事 ⑤新年の抱負 ⑥将来どんな町になって欲しい？



小形あゆみさん(浅立)
東根小学校5年

12歳

平成12年生まれ



小林大貴くん(横田尻)
蚕桑小学校5年

- ①両親、祖父母、兄2人の7人家族
- ②家でゆっくりくつろぎながら本を読むこと
- ③水泳
- ④町民水泳大会の50歳バタフライで1位をとれたこと、総合学習で取り組んだ米づくり。米づくりの大変さも分かり、自分で作ったお米のおいしさが心に残っています。
- ⑤町民水泳大会で新記録を出すことと、最上級生になるので、下級生の見本となれるようにがんばり、良い思い出をたくさん作りたいです。
- ⑥みんなが安全に楽しく生活でき、私たちが大きくなったときに働く場所がたくさんあるといいです。

- ①両親、祖父母の5人家族
- ②スキー
- ③スイミング(背泳ぎ)
- ④夏休みに「わんぱく夢冒険」で、ほかの学校の5年生と一緒にディズニーランドなどで楽しく遊んだこと
- ⑤短距離の練習をたくさんして、今よりもっと速く走れるようになることと、自主学習などで苦手科目(算数)を克服すること。
- ⑥子どもからお年寄りまでみんなが仲良く暮らし、暴力事件や犯罪のない(少ない)楽しい町であってほしい。

高田真亜稀くん(中山)

鷹山小学校5年



- ①両親、祖父、弟の5人家族
- ②体を動かすこと(水泳やサッカーなど)
- ③ハードル走
- ④東日本大震災が発生し、多くの人々が亡くなったこと(仙台の親戚も避難生活をしている)
- ⑤ムダな電気などはこまめに消して、節電に取り組みたい。ドリームキッズでいろんなスポーツにチャレンジしてみたい。
- ⑥人が増えてにぎやかな明るい町になってほしい。それから大きな体育館があるといいです。

長澤ももさん(高玉)

蚕桑小学校5年



- ①母、祖父母、曾祖父母の6人家族
- ②ナノブロックでいろいろなものを作ること
- ③スキー
- ④「わんぱく夢冒険」で東京に行き、ホテルの部屋で友だちみんなと話したこと。
- ⑤町スキー大会で入賞することと、習字で準五段に進級することです。
- ⑥もっと人口が増えて、にぎやかな元気のある町になってもらいたいです。そして、将来はパティシエとして町内に店を出したいです。



岡田麻紀さん
(浅立)

調理師

24歳

昭和63年生まれ

- ①父・母の3人家族
- ②スノーボード、韓国ドラマ鑑賞
- ③ソフトボール（浅立スワーズのメンバーとして頑張っています）
- ④震災です。通っていた福島の短大が崩れたり、友達と連絡が取れなかったりと不安で、とても身近に感じた地震でした。
- ⑤社会人2年目となる今年は、子どもたちが喜び献立を考えられるようになり、子どもたちにいろいろな調理方法や料理を幼児期のうちに体験させてあげたいです。
- ⑥子どもが元気に遊べるまち・子どもがいっぱいいるまち・将来子どもを生んだときに子育てしやすいまちになってほしいです。

石川大輔さん
(山口)

教員



- ①両親、祖母の4人家族
- ②買い物
- ③陸上競技（槍投げ）
- ④地震。地震が起こったとき白鷹町にいなかったもので、とても心配でした。また、高校時代から続けている槍投げで、2年連続で国体に出場できたことです。全国のレベルを肌で痛感して、良い刺激になりましたし、地方（山口県）へ行けたことも楽しかったです。
- ⑤社会人2年目になるので、仕事についていろいろと覚えて、先輩たちに迷惑をかけないようにしたい。また、サーフィンに挑戦してみたい。
- ⑥白鷹町がもっと有名になるためにも、「白鷹町といえばこれ!」といえる名物がほしいと思います。



伊藤 薫さん
(十王)

会社員

36歳

昭和51年生まれ

- ①妻、子ども（女の子）1人の3人家族
- ②バイク
- ③しゃべっこと
- ④東日本大震災。岩手にいる友達となかなか連絡が取れず、本当に心配しました。
- ⑤今、子どもが女の子一人なので、二人目がほしいです。二人目は男の子がいいですね。
- ⑥子どもたちをのびのび育てられるまちになってほしいです。また、いつまでも変わらず、温かみのある町民がすごせるまちであってほしい。

高橋由紀さん
(浅立)

飲食業



- ①両親、娘2人、姉夫婦、姪、弟の9人家族
- ②映画・海外ドラマ鑑賞
- ③おしゃべり
- ④地震です。友だちが七ヶ浜にいて、テレビの津波の映像を見て心配でした。自分も子どもと一緒にいることができたので幸いだったと思います。
- ⑤今の仕事を始めたばかりなので、まずは仕事を覚えて、郷土料理などを使ったおいしいお弁当を届けたい。そして、家族みんなで元気で暮らせたら良いです。
- ⑥子どもを育てやすいまちづくりをしてほしい。「ここで子育てすると楽しい!」と思ってもらえたら人も集まるのではないかなと思う。みんなで集まって遊べる公園が町内各地にあると嬉しいです。



樋口 良昭さん(鮎貝)
東北電力検針員

48歳

昭和39年生まれ

- ①妻、両親の4人家族
- ②ゴルフ
- ③人とコミュニケーションをとること
- ④東日本大震災。車を使う仕事なので、当時のガソリン不足は大変だった。ガソリンを分けてもらったり、新潟でガソリンをつめたのが心に残っています(ついでに鮮魚も求めました)。
- ⑤震災を通して、普通に生活できることのありがたさが身にしみて分かったので、家族が健康に暮らせること。あとは、同級生で孫がいる人もいるので、孫の顔が見ればいいかなあ。
- ⑥荒砥橋の早期架け替えや町民体育館建設によるスポーツ公園周辺の整備、企業誘致による雇用の確保をお願いします。それらを通して東西の隔たりをなくし、若者が残ってくれる活気ある町になってほしい。



宮城 和美さん(荒砥乙)
会社員

- ①母、息子2人の4人家族
- ②ラーメン屋めぐり
- ③ペットのしつけ、ビール飲み
- ④東日本大震災。停電の中、ペットボトルにお湯を入れて家族が身を寄せ合ってすごした夜は忘れられないです。あとは、仕事に追われあっという間に終わった1年でした。
- ⑤同級会などの集まりの場に行くと、亡くなっている同級生も結構いるので、まずは、家族ともども健康に気をつけて過ごしたいです。
- ⑥仕事で置賜管内を回るのですが、白鷹の人は特におだやかでいい人が多いなあと感じています。これは、きっと住んでいる環境がいいからだと思うのですが、これからもこの環境(田舎っぼさ)を維持してほしいと思います。



丸川 紀子さん(横田尻)
自営業

60歳

昭和27年生まれ

- ①息子夫婦、孫2人、母の6人家族
- ②きれいな風景などを写真に撮ること。
- ③新しいことにチャレンジすること。
- ④東日本大震災による原発事故。放射能汚染による風評被害で肉の価格が低迷し、大打撃を受けました。あとは娘をお嫁に出したことです(ほっとしました)。
- ⑤まずは家族が健康でおだやかに過ごせること。そして、仕事も充実させ、みなさんに愛される『肉の丸川』にしていきたいと思います。
- ⑥町には文化や産業など良いものがたくさんありますが、「これだ!」というものが無いように感じます。何か一つ町民が誇れるものを追求してほしいです。また、いつでも安心して子どもたちを遊ばせることができる施設があればと思います。



紺野 伊久雄さん(畔藤)
どりいむ農園社長

- ①妻、娘夫婦、孫3人、母の8人家族
- ②色々な土地の美味しいものを食べる
- ③お酒飲み
- ④やっぱり東日本大震災。もう少し復電に時間がかかっていたらハウス栽培の野菜も相当被害を受けていたかもしれない。あとは、りんごの不作。昨年の出来はこれまでで一番ひどかったんじゃないかと思う。
- ⑤食べ物、人間の体をつくったり病気を予防するためにとっても重要なもので、農業はみんなの命を守る産業だと思っている。これまで以上に安全安心な農作物作りに心がけ、おいしい物を提供していきたい。
- ⑥農業も含めた雇用の場を確保していただき、子どもたちの元気な声がひびく町であってほしい。

インタビューの内容

① 家族構成

② 趣味

③ 特技

④ 2011年心に残った出来事

⑤ 新年の抱負

⑥ 将来どんな町になって欲しい？

84歳

昭和3年生まれ



紺野 五月さん (萩野)

- ① 夫、娘夫婦の4人家族
(お邪魔したときは、お孫さんが出産で帰省中)
- ② 折り紙でいろいろなものを作ることです。
- ④ 東日本大震災が発生したこと(しばらくの間体が揺れている感じだった)と、ひ孫が生まれたことです。
- ⑤ 好きな折り紙の作品づくりを人に教えることと庭に咲く花を眺めながらおだやかに生活することです。
- ⑥ 東日本大震災を通して、白鷹町は本当に災害が少なく、良い町だと思いました。このまま自然に恵まれた災害のない町であってほしいです。

72歳

昭和15年生まれ



橋本 一男さん (畔藤)

- ① 妻、息子夫婦 孫3人の7人家族
(一男さん、嫁さん、お孫さんも辰年生まれ)
- ② いろんな土地のものや骨董品などを集めることです。
- ④ 東日本大震災の発生と、自分が役員をしていた畔藤ほ場整備の償還が終了したことです。
- ⑤ 特別なことはなくても家族が健康で暮らせるように願っています。
- ⑥ 白鷹は、自然が豊かでこのままでも十分だと思いますが、孫たちが大人になった時、ふるさと(白鷹)は良い町だよと言えるような町になってほしいです。

辰



すべての年男・年女の皆さんにとって今年1年が良い年でありますようお祈りいたします。

10年後の白鷹町は...



みんなが楽しく住みよいまちにするために

子ども会議開催

12月10日、産業センターで、町内の小中学校、荒砥高校の代表21人が参加し「子ども会議」が行われました。

この会議は、次代を担う子どもたちが、話し合いを通じた交流を深めることで、『町』を見つめなおし、関心を高め、まちづくりに積極的に参画するきっかけづくりを目的として開催されました。

青少年育成町民会議（梅津晶一会長）と教育委員会の共催で、今回が第3弾となります。

会議の流れ

①自己紹介
顔写真入りの名刺を使い、参加者全員と交流。その後、各グループに分かれて、改めて自己アピールを行い、役割分担を決めます。

②会議本番

4つのグループに分かれ、「みんなが楽しく住みよいまちにするために」

まちにするために私たちが暮らす10年後の白鷹町」について話し合いました。

小学生は「学校以外の活動」について考え、中高生は「町の仕事」について考え各々に意見を出し合います。

③発表

各グループごと、チーム名・テーマを考え、発表を行いました。

※発表の内容などは次ページをご覧ください。



講評

○町長

どの班からも交流人口の拡大という提案をしていただいた。フラワー長井線の沿線市町では、それぞれ花を活用したまちづくりが行われている。白鷹町は紅花が各地で栽培されているので、長井線沿線に紅花を植栽すれば、花を活用した、町の身の丈に合ったテーマパークをつくることのできるかもしれない。

皆さんが考えていること、これを実現していくことが町に課せられた課題となるので、これからも皆さんの意見を大切にしながら、ひとつひとつ実現できるようにしていきたいと思う。

町の取り組み状況は、進み具合を見ながら皆さんにお知らせしていきたいと思う。

今回の子ども会議は大変有意義なものだったので、今後もちまちづくりに興味を持ち続けていただきたいと思います。



議長
鈴木悟くん

各グループの発表(町づくりのアイデア)



チーム名
「チームAKKMM」

テーマ
「町おこし」

- ①町の良いところを増やしたり、更に伸ばして人口を増やす。
- ②東京ディズニーランドのようなテーマパークをつくる。
- ③マスコットキャラクターをつくって町をPRする。
(深山和紙「わっし!くん」など)
- ④白鷹町のいいところをPRする。
- ⑤子ども手当を増やす。

メンバー

丸川真由子 (蚕桑小)
新野菜見 (鮎貝小)
菅原麻鈴 (荒砥小)
山川喜輝 (鷹山小)
梅津 紘也 (東根小)



チーム名
「ポスカモスカ」

テーマ
「町を発展させるために!!」

- ①芸能人を呼んで町に人が集まるようにする。
- ②町おこしグループをつくったり、ポスターやホームページを作って町に来る人を増やす。
- ③マスコットキャラクターをつくって町を有名にする。
- ④コスプレ大会やファッションショーを開催して町おこしをする。
- ⑤交通手段を増やす。
- ⑥まつりを拡大する。

メンバー

小林果歩 (蚕桑小)
菅野敬太 (鮎貝小)
竹田了礼 (荒砥小)
佐藤美空 (鷹山小)
安部美聡 (東根小)



チーム名
「young man 5」

テーマ
「若者のための町づくり」

- ①企業に対して町が助成金を出したり、学校と企業が連携し関わりを深め、若者に対する求人数を増やす。
- ②本屋や娯楽の場所など、若者が集う場所をつくる。
- ③CMを作ったりポスターを増やすなどして全国にPRし、町の特産品を売り込んでいく。
- ④児童、生徒が町の特産品に興味・関心が持てるような取り組みを行う。
- ⑤農業体験をさせたり、農業のプロを呼び若者に対して講習するなどして農業の後継者を育てていく。

メンバー

長谷部祥太 (西 中)
平晃太郎 (東 中)
塩野翔太 (東 中)
佐藤翼 (荒砥高)
鈴木 瞭太 (荒砥高)



チーム名
「チーム白鷹PR」

テーマ
「これからの白鷹町」

- ①修学旅行先で白鷹町をPRし、町への観光客を増やす。
- ②米沢市や長井市など置賜一円で行われている雪灯り回廊を白鷹町でも行うことで冬の観光客を増やし、地区や町全体の活性化につなげていく。
- ③農作物は、町外から供給されたものを消費するのではなく、できるだけ町内で栽培されたものを消費するようにする。

メンバー

吉村 昂訓 (西 中)
丸川 孝典 (西 中)
和田英里子 (東 中)
早川 成美 (荒砥高)
齋藤ちなつ (荒砥高)



申告が必要なかた

- 給与収入があり次に該当するかた
 - ① 年末調整を行っていないかた
 - ② 前年中に途中で退職したかた
 - ③ 給与以外に所得のあるかた
 - ④ 2カ所以上から給与のあるかた
- 農業・営業・不動産など事業所得のあるかた
- 配当や保険満期、資産の譲渡などの所得があるかた
- 年金受給者で社会保険・生命保険料控除を受けようとするかた
- 収入がなく次に該当するかた
 - ① 国民健康保険に加入しているかた
 - ② 所得証明が必要なかた
 - ③ 年金などの免除を申請されるかた



農業所得があるかたへ(販売がある農家)

収支計算による申告となります。

◇持ち物

収支内訳書(農業所得用)及び収入と経費が確認できるもの

- ① 中山間地域等直接支払及び戸別所得補償制度を活用されているかたは収入金がかかる書類
- ② 農協と取引されている方は農協が発行する各種明細書、なければ農業の相談はできません。
- ③ 営農組合(集落営農)のかたは分配金の計算書

■お願い

- ① 農作業の委託費、小作料のあるかたは事前に支払明細書を提出ください。
- ② 機械等を共同で購入されたかたは事前に販売証明書などを提出ください。



営業・不動産など事業所得のあるかたへ

◇持ち物

収支内訳書(一般・不動産用)及び収入と経費が確認できるもの

※町の収支計算書を活用ください。



報酬・配当所得のあるかたへ

◇持ち物 支払明細書など



給与・年金所得があるかたへ

◇持ち物 源泉徴収票

※中途退職者は退職時までの源泉徴収票も必要です。



障がい者控除を受けられるかたへ

◇持ち物 障がい者手帳など

※要介護認定を受けているかたで、「身体障がい者に準ずる」と認定された場合は、障がい者控除を受けることができます。

(証明書は健康福祉課で発行します)



医療費控除を受けられるかたへ

◇持ち物 領収書

※出産一時金、高額医療費がある場合や保険などの補填金がある場合はその金額がのぞかれます。

※金額は事前に合計しておいてください。



住宅借入金等特別控除の適用を受けられるかたへ

◇持ち物

借入金の年末残高等証明書、住民票、登記簿謄本、契約書写しなど。

※共有名義や敷地の購入等で添付書類も異なりますので事前にお問い合わせください。

申告に必要なもの(この表でもう一度ご確認ください)

申告されるかた全員
<input type="checkbox"/> 印鑑
<input type="checkbox"/> 町民税・県民税個人申告書
<input type="checkbox"/> 所得税確定申告書(税務署から送付されているかた)
所得(収入)に関するもの
<input type="checkbox"/> 源泉徴収票(給与・年金)
<input type="checkbox"/> 収支内訳書(農業・営業・不動産その他事業所得があるかた)及び収入と経費を証明するもの 「農」…出荷証明書や購買明細書等及び経費が確認できるもの 「営・不」…売上伝票や帳簿等及び経費が確認できるもの
<input type="checkbox"/> 一時所得や保険満期一時金などの証明書
<input type="checkbox"/> 支払明細書、金融機関発行の源泉徴収票(配当のあるかた)
<input type="checkbox"/> 個人年金、講師料、謝金など各種報酬の支払明細
<input type="checkbox"/> 売買契約書、譲渡費用等がわかる領収書(土地等売却されたかた)
控除に関するもの
<input type="checkbox"/> 生命保険料支払証明書
<input type="checkbox"/> 個人年金保険料支払証明書
<input type="checkbox"/> 地震保険料支払証明書(平成18年12月31日までに締結した長期損害保険料支払証明書)
<input type="checkbox"/> 国民健康保険・介護・後期高齢者保険料の領収書
<input type="checkbox"/> 国民年金、農業者年金掛金の領収書
<input type="checkbox"/> 医療費の領収書、おむつ使用証明書
<input type="checkbox"/> 身体障がい者手帳、療育手帳など
<input type="checkbox"/> 障がい者控除対象者認定書(要介護認定者)
<input type="checkbox"/> 寄付を行った団体の発行する領収書
振替納付や還付に関するもの
<input type="checkbox"/> 通帳の本人届出印
<input type="checkbox"/> 申告者名義の金融機関名・支店・口座番号がわかるもの

● 問い合わせ 税務出納課町民税係(☎85-6132)

町県民税の申告相談

2月15日～3月15日まで！

まもなく、町県民税の申告と所得税の確定申告の時期です。

平成24年1月1日現在、白鷹町内に住所があり、次に該当するかたは所得申告が必要です。

申告相談の日程が決まりましたのでお知らせいたします。日程と会場をご確認のうえ、お越してください。

なお、申告相談の際の注意点などをまとめましたので、必要な書類の事前の準備をお願いします。

申告相談日程				
月日	曜日	会場	相談受付地域	
			午前	午後
2/15	水	鷹山地区公民館 (鷹山地区)	中田、原、上原	堀之内、北原、針生
16	木		山道、西	新屋敷1・2
17	金		下折居、上折居、西原、細野	東小手沢、南
20	月	東根地区公民館 (東根地区)	南部1・2	南部3・4・5
21	火		中部1・2	中部4・5・6
22	水		北部1・2	北部3・4
23	木		中部3、東部1・2	東部3・4
24	金	蚕桑地区公民館 (蚕桑地区)	蚕桑3・4	蚕桑1・2・5
27	月		蚕桑6・7	蚕桑8・9・10
28	火		蚕桑12・16・17・18	蚕桑11・13
29	水		蚕桑14・15	蚕桑19・20
3/2	金	ハーモニープラザ (鮎貝地区)	鮎貝3・4・12	鮎貝10・14
5	月		鮎貝2、高岡2、深山2	鮎貝1・6
6	火		鮎貝7・8・9	鮎貝5、高岡1、深山1
7	水		鮎貝13	鮎貝11、黒鴨
8	木	産業センター (荒砥・十王地区)	十王1・2	十王3・4・5・6
9	金		十王8・9・10	十王7、菖蒲1・2
12	月		下山・佐野原	貝生2、八幡2
13	火		貝生1、大瀬	貝生3、新町
14	水		上町、出来町1、横町1	仲町1・3
15	木		仲町2、出来町2	横町2、八幡1、仲町4

注意点

＜受付時間＞ 午前の部 午前8時45分～11時
午後の部 午前11時45分～午後3時

＜開館時間＞ 朝8時30分 ※3月1日(木)は申告相談を休みます。

- 申告は受付簿に記入された順に行います。
- 今年度より、全日程に地域指定を行いましたので、次のことに注意してください。
 - ①都合により指定日に来られなかったかたは、同じ会場のいずれかの日においでください。
 - ②指定された会場に都合のつかないかたは、事前に税務出納課町民税係にご連絡ください。
- 申告期間中は、税務出納課での相談は行いません。
- 前年の所得に対して課税されますので、平成23年中(1月1日～12月31日)の所得を申告してください。

皆さんのご意見をお寄せください

生涯学習振興計画（平成24～28年度）「案」について

教育委員会では、町の生涯学習の振興を図っていくため生涯学習振興計画の策定作業を進めています。計画期間は平成24年度から平成28年度までの5カ年間となります。計画の策定作業は、町社会教育委員（齋藤和男委員長）のかたがたと検討を重ね、このたび計画（案）としてまとめましたので、その概要をお知らせいたします。

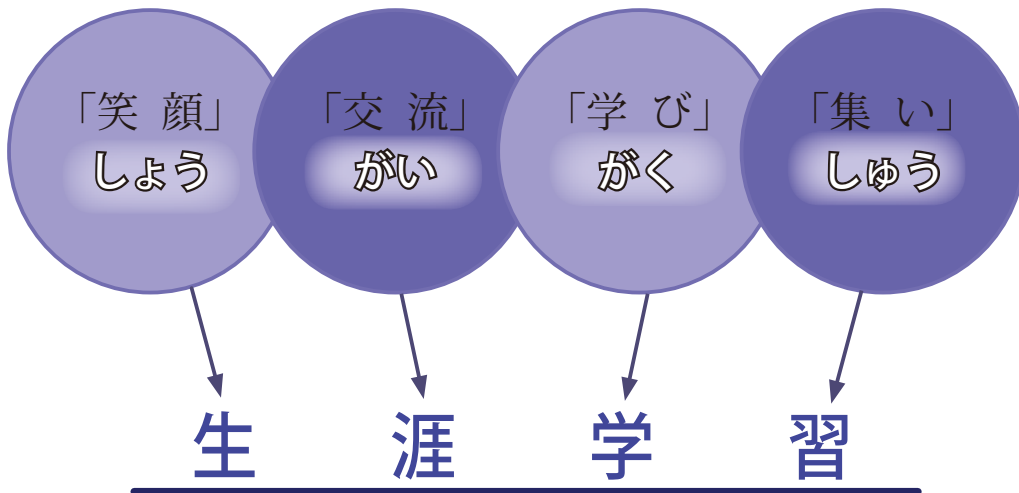
◎意見募集期間
1月31日（火）まで

白鷹町生涯学習振興計画【平成24年度～28年度】
の基本目標

しょう がい がく しゅう
笑顔・交流・学び・集い

が育む白鷹の人・まち

※計画推進の4つのキーワード



白鷹の人、まちを育むものこそ生涯学習であるという理念のもと、上記4つの「笑顔」「交流」「学び」「集い」を計画推進のキーワードに、各種事業の展開を図っていくものとして上記の基本目標を定めていきます。

計画策定の趣旨

この計画は、生涯学習の活動を通して、第5次総合計画の将来像「笑顔かがやき心かよう美しいまち」と、教育に掲げる目指す姿「学び、集い、笑顔かがやく白鷹人（しらたかびと）」の実現を目指し策定するものです。

生涯学習とは？

自己の充実や啓発、生活の向上のために、自らの意思により生涯を通じて行う学習とされています。

学校や家庭、地域、スポーツ・文化活動、趣味やレクリエーション、あるいは職業能力の開発や向上、社会福祉やボランティア活動、伝統文化継承活動なども含まれており、新しい時代を切り拓く活動や行動ともいえます。

その活動を支援していくものが教育行政ということになりますが、健康や福祉、産業くらしやまちづくりに至るまで、町行政が一体となりながら、町民のかたがたの生涯学習環境の整備を図っていくことが必要です。

計画の全体構成

第5次白鷹町総合計画 将来像：笑顔かがやき 心かよう 美しいまち

- 次代を担う白鷹人育成推進プロジェクト
- 歴史・文化と地域づくり推進プロジェクト

生涯学習の推進

白鷹町の教育 めざす姿：学び、集い、笑顔かがやく白鷹人（しらたかびと）

白鷹町生涯学習振興計画（H24-28）

基本目標

笑顔・交流・学び・集い(しょうがいぐくしゅう)が育む白鷹の人・まち

- ①生涯にわたる学びの推進
- ②生涯スポーツの振興
- ③芸術・文化の振興
- ④生涯学習推進体制の整備

各分野における主な内容

①生涯にわたる学びの推進

○青年層の活動は、「白鷹人」育成の重点として、町行政が一体となった元気の活動を展開していきます。

○地区公民館は、地域づくりの拠点としての体制整備や強化を図るためのコミュニケーションセンター化の取り組みとの調整を図るとともに、地区公民館活動の推進・支援に継続して取り組みます。

○中央公民館と図書館は、生涯学習活動を行う上で重要な施設であり、その機能を調整し、さらに町内各施設の整備との調整を図りながら整備を進めます。

②生涯スポーツの振興

○平成23年8月に改正されたスポーツ基本法に基づき、本計画が町のスポーツ推進計画となるような内容としていきます。

○新規事業として、東陽の里グラウンドの人工芝生化を進めます。
○スポーツ活動の拠点としてスポーツ公園を町の生涯ス

ポーツ振興の拠点エリアとして位置付け、(仮称)白鷹町スポーツセンターの整備を進めていきます。

③芸術・文化の振興

○文化交流センター『あゆむ』を町の芸術文化振興の拠点として、芸術文化活動の多様な機会づくりと多くのかたがたの参画による芸術文化の振興を図ります。
○歴史民俗史料館の整備検討を進めます。

○平成26年度に白鷹町史(現代編)を発刊します。

④生涯学習推進体制の整備

○専門的職員(社会教育主事など)の養成と配置を進めていきます。

○職員や指導者などの研修を充実していきます。

○生涯学習振興のため、中央公民館と地区公民館、図書館などの連携を深めながら、事業の充実を図っていきます。

○地区公民館は地域の生涯学習活動の拠点としての機能を継続していけるようコミュニケーションセンター化の取

組みとの調整と検討を行います。

○学校、地域・町民、他の行政分野、近隣自治体との連携を強化し、より効率的で効果の上がる事業を展開していきます。

○第5次総合計画に掲げる目標指標に沿った適切な評価システムを構築しながら、効果的な生涯学習活動を推進していきます。

■ご意見・問い合わせ

教育委員会生涯学習係
(☎85-6147) まで

※ご意見は、「広報直通便」または、町ホームページに掲載の「意見提出様式」に必要事項をご記入の上、郵送・ファックス・電子メールなどでお寄せください。

待ちに待ったシーズン到来！ スキー場安全祈願祭



12月19日、町営スキー場の安全祈願祭が行われました。当日は、スキー場従業員やスキー連盟など関係者約40人が出席し、シーズンを通しての無事故を祈願しました。一面真っ白だったものの滑走するには積雪量が足りず、オープン予定から3日後の12月26日、無事にオープンを迎えることができました。毎月第3日曜日は、小学生までのリフト代が無料の「スキーこどもの日」です。ご家族でお楽しみください。

臨場感あふれる交響楽団演奏会 第15回ハーモニーコンサート



12月4日、あゆむで山形交響楽団による第15回ハーモニーコンサートが行われました。町で交響楽団の演奏会を聴くことができる唯一の機会として毎年継続して開催されてきました。東日本大震災の追悼演奏となる「弦楽のためのアダージョ」や、「交響曲第8番へ長調」など多彩な演奏が行われました。町内外から多くのかたが集まり会場はほぼ満員となり、音楽専用ホールでの演奏を熱心に聴き入っていました。

地元の駅に感謝をこめて 四季の郷感謝祭



12月23日、フラワー長井線四季の郷駅前広場で感謝祭が行われました。鮎貝地区の新しい玄関口としてオープンして早4年。地元のかたがたや荒砥高校生のボランティアなどにより毎年開催されているお祭りです。今年はおつあつの豚汁が振る舞われたほか、宝くじのプレゼントなどがあり、吹雪のような天候の中でしたが、集まった皆さんは笑顔で楽しいひとときを過ごしていました。（写真は宝くじ抽選の様子）

これからの観光に向けて 旅づくりについて語る会



12月13日、観光協会主催の「旅づくりについて語る会」が開催され、飯豊町観光協会の二瓶裕基さんを招き、講演をいただきました。二瓶さんは“会員をいかにもうけさせるか”ということを念頭に、最近台湾の観光誘客に積極的に取り組んでいらっしゃるそうです。こちらでの田舎生活が好評で、台湾での知名度も上がっているそうです。町観光協会でも「旅づくり」や町の発信にさらに力を入れるということです。

平成23年度日本PTA 全国協議会会長表彰受賞

東根小学校PTA

平成23年度日本PTA全国協議会表彰式がホテルニューオータニ（東京都）で開催され、東根小学校PTA（橋本徳味会長）が会長表彰を受賞しました。

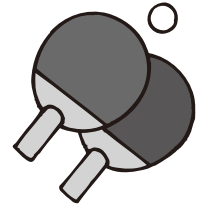
東根小PTAでは、心の通い合うあいさつ運動をはじめ、地域・関係機関と連携しての学校林整備作業、全保護者参加による登下校時の見守り・声掛け活動などが積極的に行われています。

これらの活動により、児童の健全育成に寄与していることが評価され、この度の受賞となりました。受賞おめでとうございます。



第32回町民卓球大会

12月11日(日)
東中学校体育館



団体戦

- 優勝 蚕桑 A
- 第2位 荒砥 A
- 第3位 荒砥高校

男子シングルス

- 優勝 中尾 進(長井市)
- 第2位 木村大介(荒砥高職)
- 第3位 大塚隼希(蚕桑)

女子シングルス

- 優勝 川崎茉惟(川西町)
- 第2位 遠藤詩歩(南陽市)
- 第3位 伊藤紗弥香(高島町)

ラージボール

- 優勝 山口良浩(荒砥)
- 第2位 川井良一(東根)
- 第3位 青木美津男(東根)

中学・小学シングルス

- (ブロック別優勝者のみ)
- 第1位 川崎茉惟(川西町)
- 第2位 佐藤風紗(川西町)
- 第3位 金子さくら(高島町)
- 第4位 山賀映理奈(高島町)
- 第5位 丸川 瑠(白鷹町)
- 第6位 廣谷佳奈子(南陽市)

男子ダブルス

- 優勝 佐藤一浩・中川春彦(蚕桑)
- 第2位 庄司 拓(長井高)
- 第3位 中尾 進(長井市)

女子ダブルス

- 優勝 遠藤詩歩・野口くるみ(南陽市)
- 第2位 佐藤風紗・遠藤里奈(川西町)
- 第3位 柴田美恵子(十王)・横山清子(荒砥)

混合ダブルス

- 優勝 石田直己・川崎茉惟(川西町)
- 第2位 佐藤一浩(蚕桑)・柴田美恵子(十王)
- 第3位 中川春彦・照井幸恵(蚕桑)

第45回白鷹町剣道大会

12月4日(日)
東中学校体育館

◆団体の部

- 小学生
- 1位 荒砥剣道スボ少愛真会
- 2位 若鷹剣道スボ少

●中学男子

- 1位 西中学校
- 2位 東中学校

●中学女子

- 1位 西中学校 A
- 2位 西中学校 B

◆個人戦

●小学低学年の部

- 1位 渡部二千花(若鷹)
- 2位 渡部 晃矢(愛真会)
- 3位 黒澤 武寛(若鷹)

●小学4年生の部

- 1位 赤間 英生(若鷹)
- 2位 山本 和(愛真会)
- 副田 未来(愛真会)
- 五十嵐悠哉(愛真会)

●小学高学年の部

- 1位 相馬さおり(若鷹)
- 2位 山本 築(愛真会)
- 3位 高橋 聖(若鷹)

●中学男子の部

- 1位 芳賀 悠太(東中)
- 2位 土屋 建二(西中)
- 3位 安部 颯人(西中)

●中学女子の部

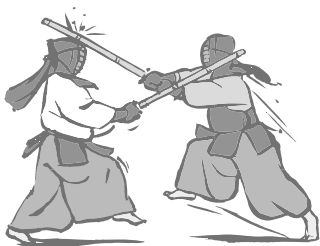
- 1位 渡部 千尋(西中)
- 2位 金田日菜子(西中)
- 3位 吉村 佳奈(西中)

●高校・一般男子の部

- 1位 奥山 久(下山)
- 2位 板垣 稜也(米沢中央)
- 3位 板垣 和貴(米沢中央)

●高校・一般女子の部

- 1位 松木雅子(米沢商業)



白鷹学講座「ハート」4

れぼーと

大人のための社会科見学

12月13日

昨年に引き続き、町をもつと知る企画として実施した「大人のための社会科見学」。12人のかたがたにご参加いただき、今回は荒砥高校・ひがしね保育園・あゆーむ・浄化センター・日本GT(株)の5箇所を見学。「どの見学地も甲乙付けがたい。」「大変おもしろかった。」とは、参加者の声で、それぞれの見学地で「新しい発見の連続!」となった社会科見学となりました。来年また別の見学地の企画をしますので、ぜひご参加ください。年末のお忙しい中、ご協力いただいた見学地の皆さまに御礼申し上げます。



●陶芸ワークショップ

▼いつ 1〜3月の毎週水曜日（1月25日、2月1日、8日、15日、22日、29日、3月7日、14日、21日） 十日曜日（1月29日の午前・午後、2月12日の午前・午後）

▼時間

水曜午後1時30分〜午後3時 日曜午前10時30分〜正午、午後1時30分〜午後3時

▼どこで 文化伝承室

▼講師 金田利之さん（深山工房つち団子主宰）

▼定員 各回とも、

電動ろくろ…2名

手びねり…数名

▼予約 各回とも、1週間前までに予約いただき調整します。予約がない回は休講。

▼参加料（1回あたり）

指導料1000円＋ろくろ使用料（10分あたり100円）

＋焼成代（1作品につき1000〜3000円。大きさや釉薬によって変わる。）

初級〜中級者への個別指導ですので、初心者も経験者も楽しく陶芸を学べます。内容

は手びねり（初級）と電動ろくろ（中級）から選択していただきます。

●十王焼募集！



十王焼のすり鉢

当館では2月末〜4月初までの会期で（仮）「深山焼と十王焼・白鷹町の焼物展」を企画しています。このうち十王焼は江戸後期から昭和初めまで日用雑器中心に作られたもので、以前は「瀬戸山」と呼ばれました。水がめや壺のほか、写真のような黒色や茶色のすり鉢が有名です。おそらく町内でも使われなくなつたままになっているものが多くあると思います。今回、そ

ういった十王焼を募集し、展覧会で展示したいと思えます。十王焼と思われる焼物がお宅にあるかたはあゆむまでご連絡ください。

●梅津五郎通常展 [5]

▼いつ H24年1月26日（木）〜2月19日（日）

▼どこで ギャラリーー 一般200円 高校生以下無料



▲《樹氷と龍山》1989

●訪問型振り込め詐欺が発生しています

県内において、あらかじめ日本年金機構や社会保険事務所などの官公庁職員を装って電話をかけ、その後訪問し、言葉巧みにキャッシュカードを詐取したり、口座から不正に現金を引き出す事件が発生しています。

【事例】

76歳の女性宅に日本年金機構の職員を名乗る男から電話があり、「年金が増額になるが、手続きが済んでいない。増額分を振り込むので、自宅までキャッシュカードを受け取りに行く」と言われ、訪ねてきた男にキャッシュカードを渡し暗証番号を教えた。その後50万円が引き出されていた。

【アドバイス】

公的機関から入金がある場合、自宅にキャッシュカードを取りに職員が訪れることは絶対ありません。個人情報等を教えたり、通帳やキャッシュカードを渡すことは絶対にしないでください。不審な電話や訪問者が来たら、一人で判断せずに家族や周囲の人に相談しましょう。



■問い合わせ

町民課くらし環境係 85-16131

白鷹町文化交流センターAYU:M

TEL. 85-9071 FAX. 85-9072 E-mail. shirataka@ayu-m.jp URL. http://www.ayu-m.jp/

冬季時間になりました

開館時間

午前9時〜午後5時※夜間のご予約がある場合は午後10時まで（ギャラリーを除く）。

H24年2月までの休館日

H24.1/16(月)・23(月)・30(月) 2/6(月)・13(月)・20(月)・27(月)



認知症の家族と笑顔で暮らす ⑨ 認知症高齢者と介護者を地域で支えましょう

認知症のかたを介護していると、外出がしにくくなったり、友人とゆっくり話す時間がとれなくなったりして、介護者は「こんな思いをしているのは自分だけなのか」など、暗い気持ちになって孤独感をもちやすくなります。介護者が落ち込んでいると、その雰囲気も認知症のかたにも伝わってストレスを感じたり落ち込んだりして認知症が進行しやすくなってしまいます。地域の皆さんにお願いしたい

のは、暖かい言葉かけや見守り、手助けです。「困ったときはお互いさま」の気持ちで互いに声をかけあいましょう。

○こんなことも手助けになります

① 顔をあわせたらあいさつをする

認知症のかたや介護者に「あなたのことを気にかけていますよ」と伝えることで、互いに暖かい気持ちになれます。

② 訪問したり招いたりして話を聞く

家族には言いにくい相談ができる人が近くにいることで「自分は孤独じゃない」と力づけられます。

③ 「○○ならお手伝いできるよ」と声をかける

介護に不慣れなかたは、なかなか周囲に助けを求めることができません。具体的には、次のようなお手伝いが介護者にはとても助かります。

- ・ 買い物頼まれる
- ・ 認知症のかたが外出しているときの見守り

- ・ 認知症のかたが困っているのを見かけたら家族に連絡
- ・ 集まりやお茶のみに誘う
- ・ 一緒に楽しく会話する

④ 相談機関を教える、連絡する

介護者の顔色が悪い、疲れている、家の雰囲気ギスギスしている、怒鳴り声が聞こえる。などの場合には、認知症のかたや介護者の心身が追い詰められていることが考えられます。地域包括支援センターはじめ相談機関に相談するようアドバイスしたり、気づいたかたが連絡してくれることで認知症のかたや介護者を支援することができます。

町では、認知症のかたやその家族も笑顔で暮らせる地域をつくるために「白鷹町認知症高齢者見守りネットワーク協議会」を立ち上げてさまざまな活動をおこなっています。次回はその活動をご紹介します。

■相談窓口・問い合わせ
町地域包括支援センター
(☎86-0112)

12月の町長交際費

平成23年12月に支出された町長交際費についてお知らせします。

■問い合わせ 総務課総務係 (☎85-6120)

支出命令日	区分	支出命令額	備考
12月 2日	御祝	30,000円	全国獅子舞フェスティバル激励金
12月 5日	御祝	3,250円	東日本大震災気仙沼松岩復興祈願祭
12月 5日	香典	20,000円	
12月 5日	贈答品	10,000円	気仙沼市訪問時お土産代
12月 9日	御祝	3,000円	萩野子獅子祝賀会
12月 15日	贈答品	4,800円	企業訪問時お土産代
12月 19日	香典	10,000円	
12月 21日	香典	5,000円	
12月 21日	香典	10,000円	
12月 26日	御祝	3,100円	ヤナ仕舞・鮎供養祭
	計	99,150円	

平成24年経済センサスー活動調査

にご協力ください

日本の経済力を知るために『経済センサスー活動調査』を新たに実施します。この調査は、全産業分野における経済活動の状態を明らかにする「経済の国勢調査」です。

Q 調査の期日は？

A 平成24年2月1日現在で実施します（1月中旬～31日までに、担当調査員が伺います）。

Q 調査の対象は？

A 全国すべての事業所・企業が対象です。

Q 調査項目は？

A 従業者数・事業内容など基本的項目のほか、売上などの経理事項を中心に調査します。

Q 調査結果の利用は？

A 地域行政の基礎資料として活用します。また、経営の参考資料として事業所の皆様にも利用していただくことを目指しています。



※調査員は調査員証（顔写真貼付）を身につけています。不審に思った際は速やかにご連絡ください。

※今回の調査は、東日本大震災による経済活動への影響を把握できる調査であり、今後の復興のための貴重な資料となります。調査へのご理解とご協力をお願いいたします。

■問い合わせ 総務課情報係
☎85-6121

白鷹町立病院の看護師を募集します

▼募集人員 若干名

▼受験資格

昭和48年4月2日以降に生まれたかたで、看護師の資格をお持ちのかた、または資格取得見込みのかた

▼申込受付期間

2月15日（水）まで

▼採用日 平成24年4月1日

▼応募先

〒992-0831

白鷹町大字荒砥甲501

白鷹町立病院事務局

※受験・申込用紙は病院事務局にあります。

※試験内容などの詳細はお問い合わせください。

■問い合わせ 白鷹町立病院
☎85-2155



平成24年度 白鷹町日々雇用職員（臨時・パート）の登録を受け付けます

▼職種と賃金

職種	資格要件	賃金(時給)
一般事務		749円
調理員		749円
学校用務員	普通自動車免許取得者	749円
下水道普及相談員	普通自動車免許取得者	749円
自動車運転手	有資格者（大型・大型特殊運転免許取得者）	785円 ～1,226円
ボイラーマン	有資格者（2級以上）	929円
保健師	有資格者	1,420円
看護師	有資格者	1,187円
社会福祉士	有資格者	1,420円

▼通勤手当相当割増賃金

2 km以上 5 km未満 100円、
5 km以上 10 km未満 200円、 10 km以上 300円

▼勤務形態

職種・職場により勤務時間、勤務日数が異なります。

▼提出書類

白鷹町臨時職員登録申請書

*総務課にお越しいただくか、町ホームページからダウンロードしてください。

▼締め切り

平成24年2月24日（金）

※書類を提出されたかたは「白鷹町日々雇用職員登録名簿」に登録され、必要に応じて名簿登録者の中から面接及び書類審査による選考のうえ雇用いたします。

（雇用及び選考については、原則平成24年4月1日現在で満60歳未満のかたを優先的に行う予定です。）

※年度初めからの雇用については、2月24日までに登録いただいたかたの中から選考させていただきますが、その後も登録の受け付けは随時行いますのでお問い合わせください。

※なお、名簿登録者全員が雇用されるものではありませんのでご了承ください。

※保育士・保育助手については、現在登録受付中で、1月31日（火）を締め切りにしています。

■受付・問い合わせ 総務課総務係 ☎85-6120



おじんちやの役割？

その日はおうちごっこが大盛況！そこへ…
 Rくん 「は～め～て。」
 Mちゃん 「いいよ、でも何の役もいっぱいでおじんちやしが空いてないよ。」
 Rくん 「え～」
 Mちゃん 「いいごで、おじんちやテレビ見て新聞読んでつといいんだから！」
 Rくん 「そっか！いいね」



いよいよ中学3年生の皆さんは進路決定の時期になりました。町では「広報しらたか」10月12日号でもお知らせいたしました。平成24年度も荒砥高校の存続と発展を願い、荒砥高校に入学して学ぶ生徒の皆さんを次の支援策により、町を挙げて応援していきます。

▼支援策①（継続事業）
 荒砥高校新入生に応援券（6万円分）を助成します。

▼支援策②（平成24年度新規事業）
 白鷹町社会福祉協議会が実施するホームヘルパー2級養成研修の費用を荒砥高校生が受講する場合、その費用を町が支援します。

■問い合わせ 荒砥高校をサポートする会
 （事務局／総務課企画調整係 ☎8516123）



子守り体験(健康まつり)



音楽祭での演奏(吹奏楽部)

蚕桑小学校で禁煙（防煙）教室実施



12月16日、蚕桑小学校1・2年生を対象に高校生禁煙サポーターによる防煙教育が行われました。荒砥高校保健委員会の皆さんが禁煙サポーターとして、タバコは体に悪いよ！というお話を劇で表現。タバコの害について学んだ小学生たちは、喫煙により被害をうけた人の肺の写真などを見て声を上げて驚いていました。「だいすきだからタバコやめてね。」と、おうちの人が禁煙できるようにセリフの練習も行いました。

高校生節電コンテストで第2位

山形方式節電県民運動の取り組みとして、県内の県立高校もそれぞれに取り組み、第1期（6月～9月）の結果が発表されました。全52校中、荒砥高校が前年同期と比較して、35.3%の削減率を達成し、第2位となりました。（※第2期は10月から平成24年1月まで実施）
 荒砥高校では、無駄な照明を消したり、自動販売機の設定温度を上げるなど、生徒一人ひとりが気をつけて行動したということです。
 東日本大震災により供給電力は減少し、新しいエネルギーが見直されています。町民みなさんもこまめな節電に取り組んでみませんか。

高校生節電コンテスト上位校

順位	学校名	削減率(%)
1	鶴岡中央高校	40.5
2	荒砥高校	35.3
3	酒田西高校	34.3
県立高校52校の平均		20.03

荒砥高校トピックス
 荒砥高校をサポートする会

町無形文化財「高玉芝居」を公演します

- いつ 2月11日(土・祝)午後1時
(開場:昼12時30分~)
- どこで さくらの里文化伝承館(蚕桑地区公民館)
- 演目「次郎長外伝 森の石松闇魔堂の涙雨」新作
- 定員 280人
- 入場前売券 500円(中学生以下は無料)
- 当日券 700円
- *前売券に残席がある場合のみ販売します。
- *当日券をお求めのかたは、多少お待ちいただきます。
- 入場前売券販売 中央公民館、各地区公民館
- 主催 町教育委員会、蚕桑地区公民館
- その他
- ①高玉芝居にまつわる資料の展示
- ②ホール内は飲食禁止です。
- 問い合わせ
蚕桑地区公民館
☎85-2153



宝くじ助成でテント・発電機・杵・臼などが整備されました。

全国自治宝くじの収益金によって住民のコミュニティ活動を推進する「コミュニティ助成事業」を受け、テントとポータブル発電機、杵・臼などが中山区に整備されました。



杵・臼など



ポータブル発電機



テント

■問い合わせ
総務課企画調整係 (☎85-6123)

白鷹町出身 耐震構造学者
「佐野利器」博士に関するテレビ番組放送について

東日本大震災からの一日も早い復興を祈り『復興せよ! 後藤新平と大震災2400日の戦い』が放送されます。
1923年9月1日、関東大震災が発生し巨大地震と大震災で東京は焼け野原に。この災害は政治的には最悪のタイミングで起き、直前に総理大臣が急死し、内閣は事実上不在でした。このとき、後藤新平は誰よりも早く動き、新総理に働きかけ、翌日には組閣を完了させ、ただちに復興策を書き上げました。また、帝都復興院を創設し、「佐野利器」ら精鋭を集め、本格的な復興計画にかかり、「遷都はしない」などの明確な方針で復興を高らかに宣言しました。
番組では、関東大震災における「佐野利器」博士の功績についても取り上げられる予定です。ぜひご覧ください。

▼放送予定 1月22日(日)午後3時~4時25分(放送時間に変更の場合があります)
▼放送局 YBC山形放送

町報川柳 「本心」

佳作	親ゆずり本心もえる人生路	鮎貝	横沢	直太
〃	本心を言わぬ生活波立たぬ	佐野原	五十嵐	あきよ
〃	本心と思ひ結婚今も無事	藤澤	田苗	創真
〃	本心を隠さず言うもひと手段	浅立	梅津	美千子
〃	本心が見えぬ素顔のほつかぶり	大瀬	五十公野	春巳
〃	本心とは裏腹見栄張り通す	荒砥甲	鈴木	美貴子
〃	本心とは裏腹見栄張り通す	高岡	長岡	みち子
〃	会終えて本心言わず悔い残る	十王	平	恒人
〃	客の前本心を出す難しさ	荒砥甲	横山	陽子
〃	酒交わす本心丸出し盛り上げる	十王	川部	隆雄
〃	聞かぬのが良いかも知れぬ本心は	横須賀	大滝	健次郎
〃	本心をかくして話す過去の事	高玉	高橋	朝子
〃	本心を言つて絆を深め合う	浅立	高橋	とみ
秀逸	本心は奥で建前前に出し	横田尻	金田	れん
〃	本心を酒の追加でついぼろり	荒砥乙	大滝	栄子
〃	親子でも本心言えぬ溝もある	滝野	海老名	きち
〃	魔の酒が本心スルリ盗み出す	世田谷	保高	悦子
〃	隠し事本心ちらり見え隠れ	高玉	片山	時美
〃	本心が見ええるように駒動く	荒砥甲	井澤	英佐子
〃	本心を言えずに過ぎた青春期	山口	石川	與次衛門
〃	本心は極秘の中の極秘です	鮎貝	植木	英夫
〃	本心をぐつと飲み込む茶碗酒	畔藤	梅津	いと
〃	本心に生きた証の笑い皺	世田谷	糸	マサ
五客	角隠し本心隠しお嫁入り	荒砥甲	五十公野	かをる
〃	青春の証本心片想い	十王	鈴木	しげ
〃	本心を抑え会議の座が和み	西高玉	金田	コト
〃	本心を言わず別れた遠い人	山口	渡部	喜美子
〃	本心を世渡り上手は使い分け	世田谷	遠藤	八重
〃	本心を思わず漏らし臍を噛む	佐野原	五十嵐	とし
地位	本心を信じて生きた共白髪	貝生	保科	努
天位	財産の放棄本心妻見抜き			
軸	句読点打って本心眠らせる			
次回	「雪」一月二十五日まで。			
はがきに三句	白鷹町荒砥乙四二八一二			
	「嘘」二月二十五日まで。			
	高橋 白兔 宛			



「安心して暮らせる市民後見セミナー」

一人暮らしや認知症の高齢者、精神や知的に障がいのあるかたが、判断能力が不十分になっても安心して生活することができるよう支援するにはどうしたら良いかを考えるセミナーです。福祉の現状や成年後見制度、市民後見人についてみんなで学びます。

午後1時～3時

▼どこで 長井市生涯学習プラザ大研修室
■問い合わせ 市民後見プロジェクトやまがた(☎0238-42-4731)

置賜地域森づくり報告会とポスター展

○森づくり発表会
▼いつ 1月21日(土)

午前10時～午後2時
▼どこで 南陽市中央公民館(えくぼプラザ)

■問い合わせ 置賜総合支庁森林整備課(☎0238-3519053)

第6師団音楽まつり

▼いつ 2月25日(土)
第1回公演 午後1時～

第2回公演 午後4時30分～
▼どこで 天童市市民文化会館
▼申込方法 往復はがきで応募ください(1枚で4人まで申込可能)。

▼往信面の表
〒999-1379 陸上自衛隊第6師団司令部広報室音楽まつり宛て

▼往信面の裏
申込者住所、氏名、鑑賞人

数、公演時間、車イス席利用のかたは「車イス席利用」と記入
▼返信面の表 申込者住所、氏名を記入
※応募多数の場合は抽選になります。

※乳幼児の入場はご遠慮ください。

▼申込期限 2月10日(金)
■問い合わせ 陸上自衛隊第6師団司令部広報室(☎0237-48-1151)

「地域社会とICT」講演会

産学官連携から生まれたことや、地方社会の将来像についての講演会です。

▼いつ 1月28日(土)
午後2時～3時

▼どこで 産業センター(パワーセンター白鷹)
▼講師 横山繁美氏(米沢BNO地域プロデューサー)

▼定員 200人
▼入場料 無料
▼主催 白鷹町アルカディア財団

■申込・問い合わせ 産業センター(☎86-0001)



平成24年度みどり環境公募事業を募集します

やまがたみどり環境税で支援する県民参加による森づくり活動を募集します。
▼支援する活動内容
平成24年度中に実施する取組み
◆一般助成

- ① 森林・自然環境学習
- ② 自然環境の保全活動
- ③ 豊かな森づくり活動
- ④ 森林資源の地活用

◆テーマ助成
▼募集締切 2月20日(月)
※応募方法や支援する活動内容など詳しくはお問い合わせください。

■問い合わせ 産業振興課(☎85-6125) または置賜総合支庁森林整備課森づくり推進室(☎0238-3519053)

充電式電池はリサイクルへ

デジタルカメラ、ポータブルDVDプレーヤー、携帯電話、ノートパソコンなどに使用されている小型充電式電池は、ごみとして捨てないで、最寄りの「リサイクル協力店」にお持ちいただくか、機器(携帯電話、ノートパソコン)と共に回収する仕組みをご利用ください。充電式電池が一般ごみの中に混入されていたことが原因で、収集作業中に火災事故が発生したという事例もありますので、ご協力をお願いいたします。

▼(社)電池工業会に登録された町内のリサイクル協力店
…コメリホームセンター白鷹店
■問い合わせ 町民課暮らし環境係(☎85-6131)

リサイクル
マークが
目印です!



Ni-Cd ニカド電池



Ni-MH ニッケル水素電池



Li-ion リチウムイオン電池

小形シール鉛蓄電池
Pd
(JBRCの取扱対象電池はヘッドホンステレオ、ハンディクリナー、コードレステレホン、ビデオカメラ用に限る)

パソコン教室のご案内

▼内容／コース／時間
 【すぐに使えるエクセル活用！コース】
 エクセルでの住所録作成・表の挿入やワードも使用した差し込み印刷を行います。

○第1回

1月16日(月)・18日(水)

20日(金)・23日(月)

午後7時～9時の計8時間

○第2回

1月25日(水)・27日(金)

30日(月)・2月1日(水)

午後2時～4時の計8時間

▼料金 無料

▼定員 各10人

▼どこで 町総合情報センター

ー(パワーセンター白鷹内)

■申込・問い合わせ 町総合情報センター 担当/小松・齋藤(☎86-00001)



EM液体石けんづくり講座

廃食用油を使ったEM液体石けんづくり講座を開催します。液体なのでたいへん使いやすい、洗濯・台所などいろいろなところで使用できます。参加費は無料です。ぜひ、この機会に液体石けんづくりにチャレンジしてみませんか？
 ▼いつ 1月27日(金)
 午後7時～

▼どこで 中央公民館1階

「文化実習室」

▼持ち物 牛乳パック(1リットルのもの)、ゴム手袋、マスク、手さし、かつぼう着(エプロン)

※汚れてもよい服装でお越しください。

※作った液体石けんは、当日お持ち帰りいただきますが、使えるようになるまでに約1カ月かかります。液体石けんの使い方などの説明をさせていただきますため、1カ

図書館休館日のお知らせ

月後に2回目の講座をご案内いたします。
 ▼申込期限 1月20日(金)
 ■申込・問い合わせ 白鷹ごみゼロの日実行委員会事務局 / 町民課 暮らし環境係 大滝(☎85-6131)

1月23日(月) から27日(金)まで蔵書点検のため休ませていただきます。

ご迷惑をおかけしますが、よろしくおねがいします。

■問い合わせ 町立図書館(☎85-2111)

平成24年度指名競争入札資格審査申請(追加)の手続きについて

建設工事、測量、コンサルタントなどの指名競争入札(追加受付)に参加を希望される場合は「白鷹町入札参加資格審査申請要綱」により申請してください。要綱は建設水道課または町ホームページでもご覧いただけます。

なお、郵送による申請の場合、2月29日(水)到着分(必着)まで受け付けます。

職場でのトラブルの解決をお手伝いします

▼受付期間 2月1日(水)～29日(水)
 ※土、日、祝日は除く
 ▼受付時間 午前9時～12時、午後1時～4時30分
 ■問い合わせ 建設水道課管理係(☎85-6140)

労働者と事業主との間ににおける個別労働紛争(解雇、雇止め、労働条件の引下げ、いじめなど) 解決のため、相談や助言・指導、紛争調整委員会によるあっせんを行っていただきます。

▼開庁時間 午前8時30分～午後5時15分

▼閉庁日 土・日・祝日、年末年始

■窓口・問い合わせ 山形労働局総務部企画室山形労働局総合労働相談コーナー(☎023-624-8226)

日本司法支援センター「法テラス」をご利用ください

法的なトラブルを解決するのにどのような方法があるか

広告

幸服を仕立てよう。

花菱の



1月21日[土]・22日[日] (22日はPM5:00終了) AM9:30～PM6:00
パワーセンター白鷹(白鷹町産業センター)

■紳士・婦人イージーオーダースーツ お仕立て上がり

1着でお買得 28,875円～

フォーマルはこの価格から↓
 1着でお買得 34,125円～

2着でさらにお買得 **49,350円**～

2着でさらにお買得 **59,850円**～

■フレッシュアズスーツ

1着 **29,400円**

■紳士・婦人オーダーシャツ お仕立て上がり

3枚 **15,750円**～
 1枚のみの場合 6,300円～

表示価格はすべて税込みです。

—— 花菱は、東北復興を応援します。 ——

お問い合わせ 花菱/山形店 023-632-5525 AM10:30～PM7:30(水曜定休)

降雪期の事故や火災発生に注意しましょう！

- ①除雪中の事故によって、
毎年多くの犠牲者が出ています

作業ポイント

- ・作業は2人以上で！
- ・屋根の雪のゆるみに注意！
- ・忘れずに！命綱とヘルメット
- ・はしごの固定を忘れずに！

※落雪によるホームタンクの配管の損傷や給油時のうっかりミスによる油漏れなどにご注意ください。



- ②暖房器具からの火災に注意！

- ・ストーブの上で洗濯物を干さない！
- ・ストーブの給油の際は火を消す！
- ・ストーブのタンクの口を確実に閉める！

※積雪により消火栓や貯水槽が埋もれてしまうところがあります。いざという時のために、消火栓や貯水槽の除雪にご協力をお願いいたします。

白鷹町・白鷹町消防団・消防署白鷹分署

広告

ツルハドラッグ 白鷹店

従業員さん募集

- ・時給700～800円(午後5時以降)
- ・年齢 60歳未満の方を募集(定年が60歳)
- ・勤務時間
午前9:30～12:00(1名)
午後3:30～9:00(1名)
- ・職種 レジ、品だし、接客等

応募要領
当店まで履歴書(写真添付)を郵送又は持参してください。
郵送先
〒992-0832
白鷹町荒砥乙394
ツルハドラッグ 白鷹店
TEL0238-86-1166
担当 島山

広告

発作外来及び整形外科診療のご案内 看護師・准看護師募集



小児科 内科 精神科 神経内科 整形外科
リハビリテーション科



医療法人 杏山会

吉川記念病院

- 発作外来(てんかん、偏頭痛等) 第1土曜日午前と午後(要予約)
 - 整形外科外来 毎週火曜日午前9時から午後2時まで
 - 吉川記念病院では、看護師さん、准看護師さんを募集しています。
 - 准看護師の資格をお持ちの方で看護師を目指している方や看護学校及び准看護師学校へ入学希望の方、当病院の修学資金制度を利用してみませんか。
- ※お問い合わせ:吉川記念病院事務長まで 電話87-8000

わからない。どこに相談すればよいのかわからない。といったときは、法テラスサポートダイヤル、または法テラス山形までお気軽にお電話ください。

▼情報提供:法的トラブルの解決に役立つ情報の無料提供

▼民事法律扶助:資力の乏しいかたのための無料法律相談や弁護士司法書士費用などの立替え

▼犯罪被害者支援:被害者支援に詳しい弁護士や支援団体などに関する情報の無料提供

○法テラスサポートダイヤル
☎0570-078374

○法テラスホームページ
<http://www.houterasu.or.jp>

■問い合わせ 日本司法支援センター山形地方事務所/法テラス山形(☎0503383-5544)

離職者に対する職業訓練生募集

▼訓練期間 3月1日(木)～8月30日(木)

▼訓練科名 NC生産システム科(NC機械加工)

▼受講者 ハローワークに求職登録されている概ね40歳未満のかた

▼定員 18人

▼受講料 無料

▼応募締切 2月10日(金)

▼選考日 2月17日(金)

※詳細はお問い合わせください。

■問い合わせ 山形職業訓練センター(☎023-68612016)

広告

主催(財)白鷹町アルカディア財団 定員200名

「地域社会とICT」講演会のご案内

地域ICTの社会サービス化が進み、地域がその環境を享受できる時代となっていますが、どのように地域のつながりや活性化、社会サービスとして活用されているのか、事例等を交えながらICTと地域社会のこれからについて講演予定です。

講師:横山繁美氏(米沢BNO地域プロデューサー)
いつ:1月28日(土)午後2時～午後3時
申込・問合せ:パワーセンター白鷹(86)0001

※当日抽選でNECのクラウド端末LifeTouch1台
その他商品多数用意

戸籍の窓

【12月1日～12月31日届出】

ご結婚おめでとう

氏名	住所
(川村 達彦)	菖蒲 蒲
(片山 由香)	高玉 野
(海老名 陽介)	萩野 城
(小住 智里)	宮城 藤
(大木 康博)	畔山 藤
(樋口 ひとみ)	深山 山
(安藤 光)	高島 町
(青木 真美)	山口 山
(沼澤 勉)	中山 山
(山口 佳子)	山形 市
(齋藤 竜)	高島 町
(荒木 広美)	鮎貝 貝

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
鮎貝	鈴木 洋春	明美 咲斗
浅立	梅津 修朱	明美 美也
荒砥乙	宇津木 尚理	也紗 ひより
鮎貝	今 勝由	幸美 愛愛
十王	茂木 友智	博美 愛雪
山口	大瀧 一早	孝希 雪

おくやみ

住所	氏名	年齢
荒砥甲	平吹 きよ	90
畔藤	菅間 正男	96
浅立	太田 ヨウ	80
畔藤	竹田 タケノ	90
畔藤	堀内 芳夫	81
荒砥甲	熊坂 きく	92
山口	森谷 セイ	90
荒砥乙	小林 とよ	91
高玉	小片 澪	90
高岡	小口 つぎ	87
佐野原	五十嵐 律子	80
横田尻	小林 次郎	97
高玉	別部 はふ	90
荒砥乙	芳賀 政太郎	84
深山	羽田 カ	84
荒砥甲	菅野 トメ	98
深山	早田 邦子	77
大瀬	五十公野 吉三郎	88
浅立	高橋 晃輔	73
中山	高藤 橋ハル	88
高玉	高竹 橋ひつ	75
佐野原	和田 安江 夫み	100
箕和田	山田 米藏	85
中荒砥	樋口 義夫	79
大瀬	吉田 義雄	80
鮎貝	武田 小	1
荒砥甲	西村 とみ	82

サークル 輪 通信

みんなで広げる



フォトしらたか (代表 菅間道雄 さん)

◆結成は？
○昭和47年です。

◆メンバー構成は？
○町内の50代以上の男性8人です。

◆はじめたきっかけは？
○当時、写真を撮ることが流行して、数人の仲間ではじめたのがきっかけです。

◆活動内容は？
○会全体では、日帰りの撮影会を実施したり、独自の写真展を開催しています。また、個人ではそれぞれに県写真展などに出品しています。

◆いつ活動しているんですか？
○写真展以外、定期的な活動は行っていませんが、毎年春は総会、年末は忘年会を開催し会員全員が集まって交流を深めています。



モデル撮影会での1枚

◆おもしろさは？
○景色や人物など、思い描いた写真が撮れた時や、その瞬間の緊張感はたまりません。「いい写真だね」と言われた時も気分は最高になります。

◆最後に一言
○景色のよい場所で撮る写真は最高です。私たちと一緒に撮影してみませんか？

■連絡先 菅間道雄
(☎85-10132)

▼新年あけましておめでとうございます。
▼今年は辰年ということで、表紙は龍関連にこだわって龍門ヶ滝を撮影しました。年末の撮影でしたが、山道(といっても道跡は皆無)には1ヶ以上の積雪があり、通常の生活で例えるならば階段の2段飛ばしで歩くような過酷さがありました。道を教えていただいた地元の方の原さんがとって下さいました。

▼中国の黄河には龍門と呼ばれる箇所があり、その龍門を登りきった鯉は龍になるといふ伝説があるとか(登竜門の語源だそうです)。今年「年男」の私も、龍門ヶ滝までのぼりきったので、充実した一年にできればと思います。

▼町民皆さまにとって、すばらしい一年になりますようお願いいたします。本年もよろしくお祈りいたします。(おたき)



広報しらたかは再生紙を使用しています。